

Ⅲ－2．小学校児童

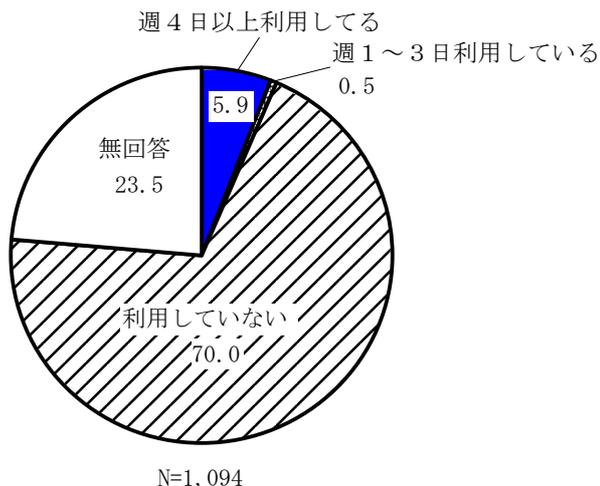
2. 小学校児童

〔1〕学童保育の利用状況

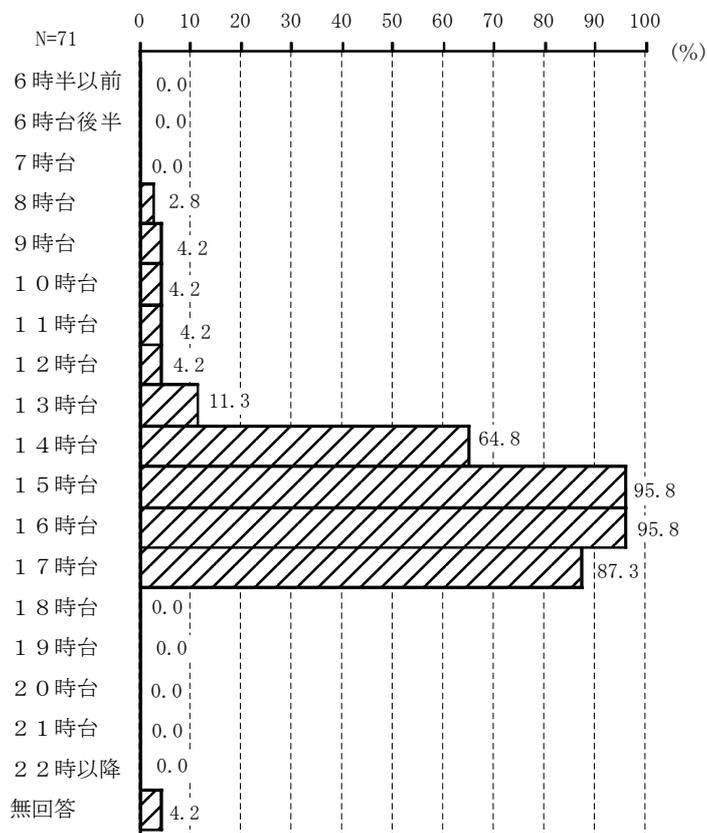
(1) 平日の利用状況、利用時間帯

問4 調査対象のお子さんは、現在、学童保育を利用していますか。平日（月～金曜日）・土曜日それぞれについて、利用状況、利用時間をお答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 1-1-1 【平日の学童保育の利用状況】



図表 1-1-2 【学童保育の利用時間帯】

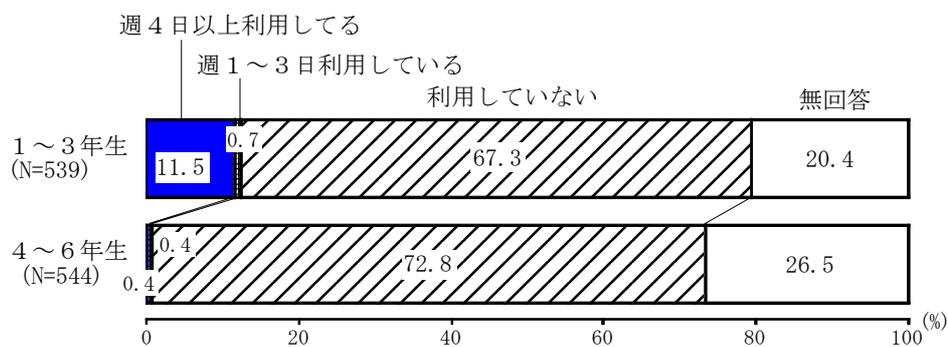


平日の学童保育の利用状況は、「週に4日以上利用している」が全体の5.9%、「週に1～3日利用している」が0.5%となっている（図表1-1-1）。

利用時間帯に関しては、14時台から17時台の間の利用が多くなっている（図表1-1-2）。

学年別で見ると、障害のある児童のみを対象とした4～6年生では学童保育の利用は0.4%である。1～3年生では全体の1割が「週4日以上利用している」と回答している（図表1-1-3）。

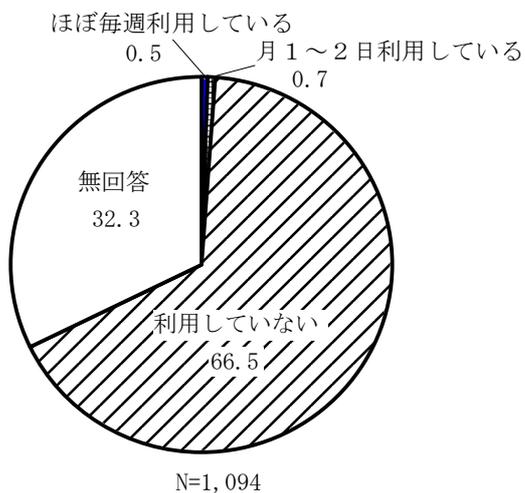
図表 1-1-3 平日の学童保育の利用状況（学年別）



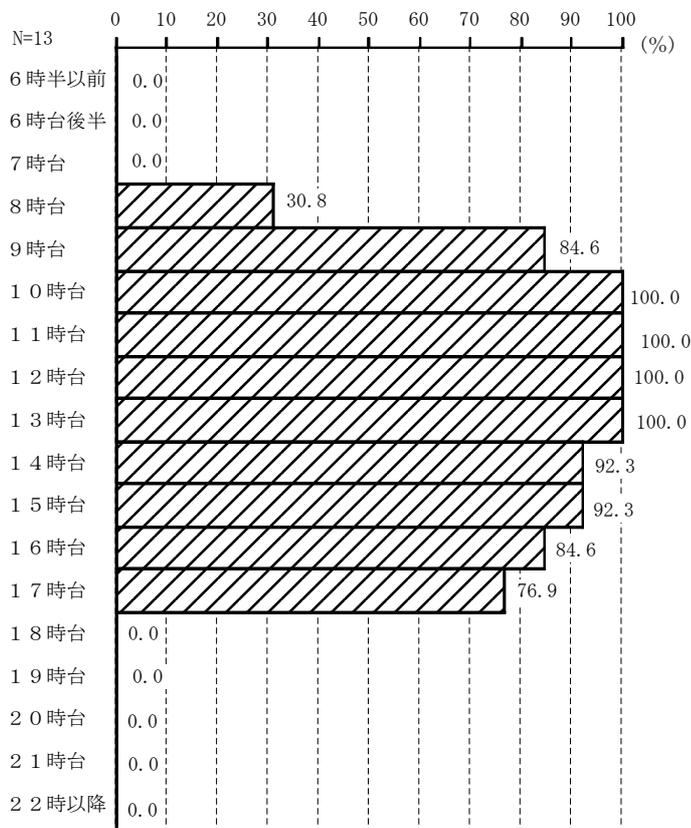
(2) 土曜日の利用状況、利用時間帯

問4 調査対象のお子さんは、現在、学童保育を利用していますか。平日（月～金曜日）・土曜日それぞれについて、利用状況、利用時間をお答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 1-2-1 【土曜日の学童保育の利用状況】



図表 1-2-2 【学童保育の利用時間帯】

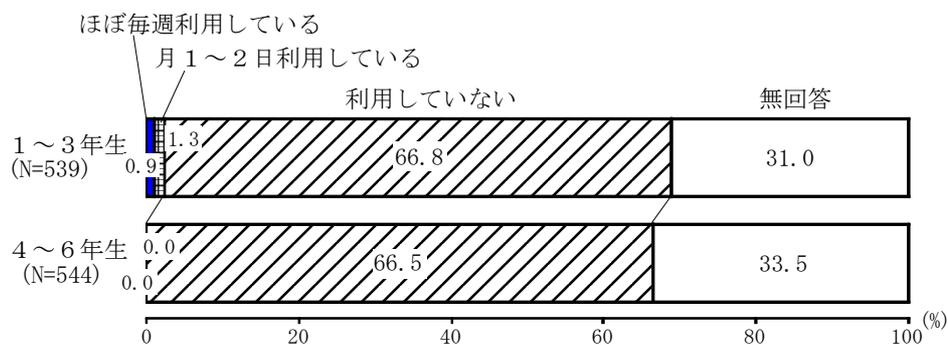


土曜日の利用状況をみると、利用者は全体の1.2%である（図表1-2-1）。

利用時間帯は9時から5時までの利用が一般的でその中でもとりわけ10時台から13時台に利用が集中している（図表1-2-2）。

学年別でみると、1～3年生の利用が2.2%となっている（図表1-2-3）。

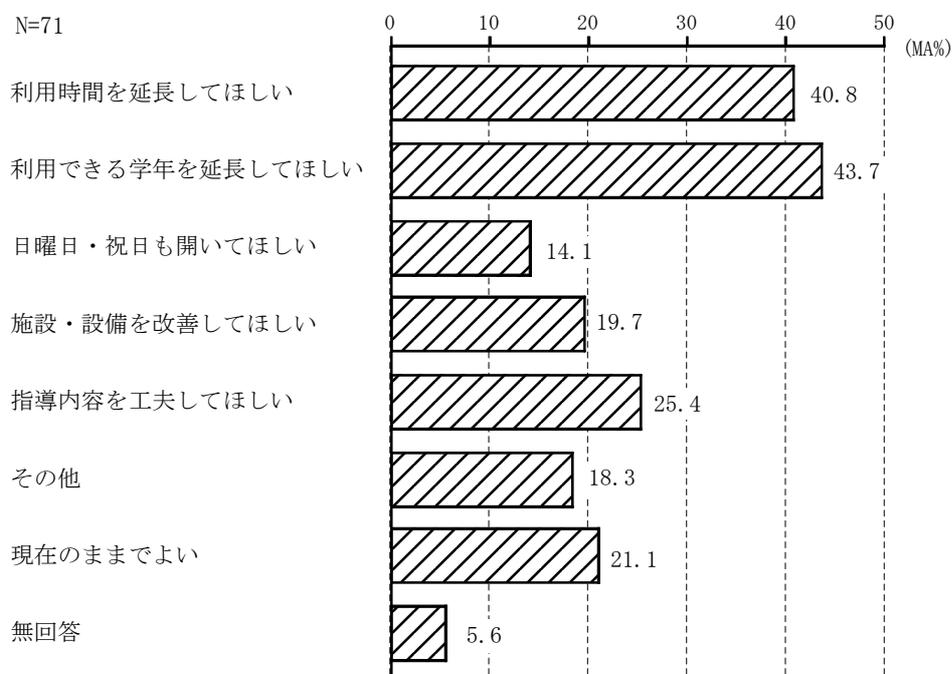
図表 1-2-3 土曜日の学童保育の利用状況（学年別）



(3) 現在通っている学童保育所に対する感想

問5 現在通っている学童保育に対してどのように感じていますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

図表 1-3-1



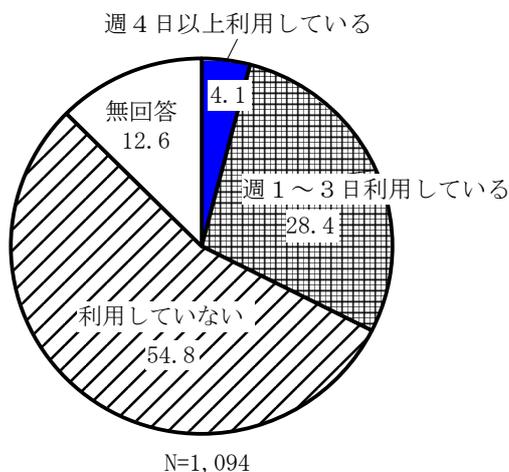
学童保育に対する要望は、「利用できる学年を延長してほしい」「利用時間を延長してほしい」がそれぞれ4割を超える回答となっており最も多くなっている。次いで、「指導内容を工夫してほしい」(25.4%)、「現在のままでよい」(21.1)の順となっている(図表1-3-1)。

〔2〕 自由な遊び場開放事業の利用状況

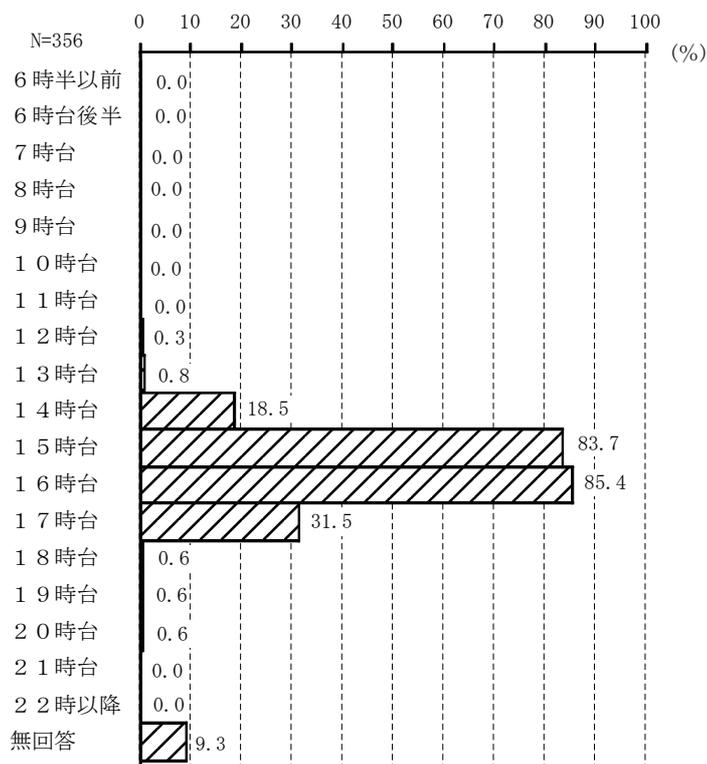
(1) 平日の利用状況、利用時間帯

問6 本市では、学童保育にあわせ、小学生なら誰でもが放課後に自由に遊べるよう、市内の市立小学校の体育館や運動場、余裕教室の一室を開放しています。調査対象のお子さんは、このような「自由な遊び場開放事業」（止々呂美小学校では、土曜日のみ実施）をどの程度利用していますか。平日（月～金曜日）・土曜日それぞれについて利用状況、利用時間帯をお答えください。なお、時間については、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 2-1-1 【自由な遊び場開放事業の平日の利用状況】



図表 2-1-2 【自由な遊び場開放事業の利用時間帯】

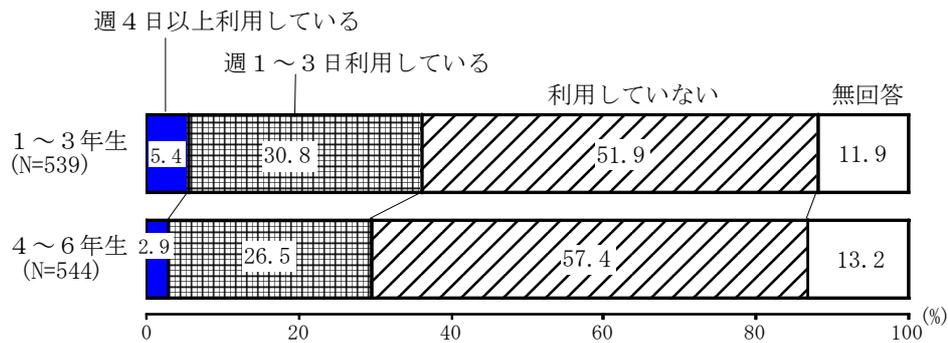


「自由な遊び場開放事業」の平日の利用状況では、「週1～3日利用している」(28.4%)、「週4日以上利用している」(4.1%)で全体の約3割となっている(図表2-1-1)。

利用時間帯は学校終了後からの2時間(15時、16時)に集中している(図表2-1-2)。

学年別で見ると、1～3年生の利用率がやや高くなっているが、高学年・低学年ともに3割程度が利用している(図表2-1-3)。

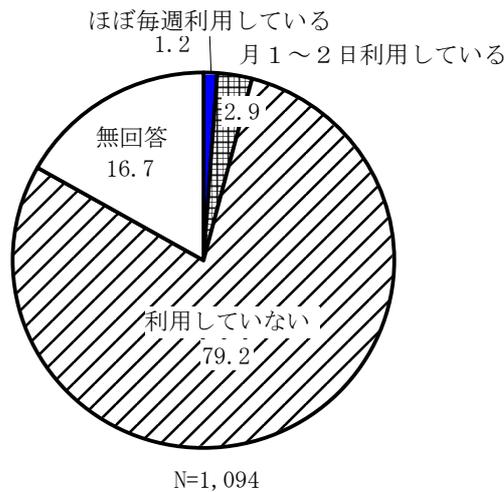
図表 2-1-3 自由な遊び場開放事業の平日の利用状況(学年別)



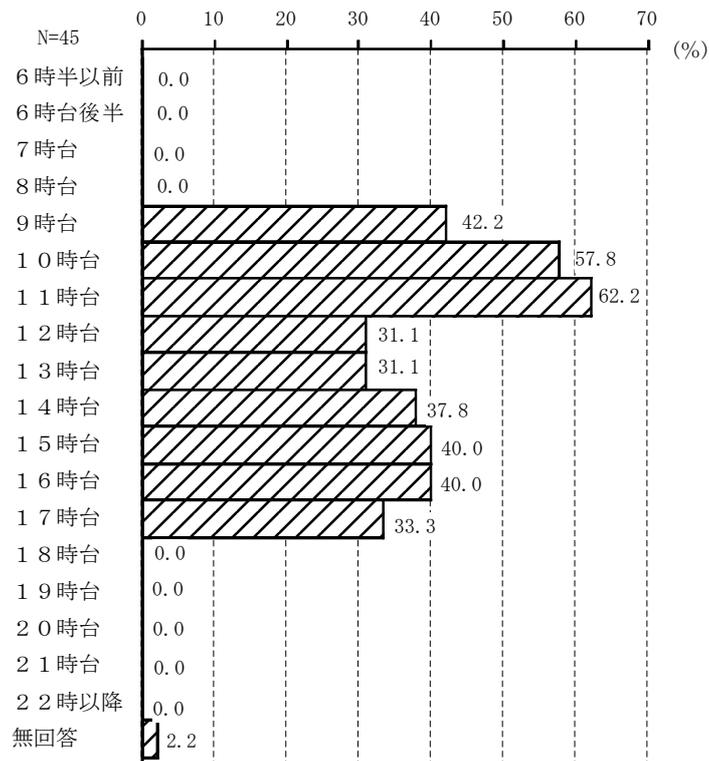
(2) 土曜日の利用状況、利用時間帯

問6 本市では、学童保育にあわせ、小学生なら誰でもが放課後に自由に遊べるよう、市内の市立小学校の体育館や運動場、余裕教室の一室を開放しています。調査対象のお子さんは、このような「自由な遊び場開放事業」(止々呂美小学校では、土曜日のみ実施)をどの程度利用していますか。平日(月～金曜日)・土曜日それぞれについて利用状況、利用時間帯をお答えください。なお、時間については、24時間制(例：午後6時→18時)でご記入ください。

図表 2-2-1 【自由な遊び場開放事業の土曜日の利用状況】



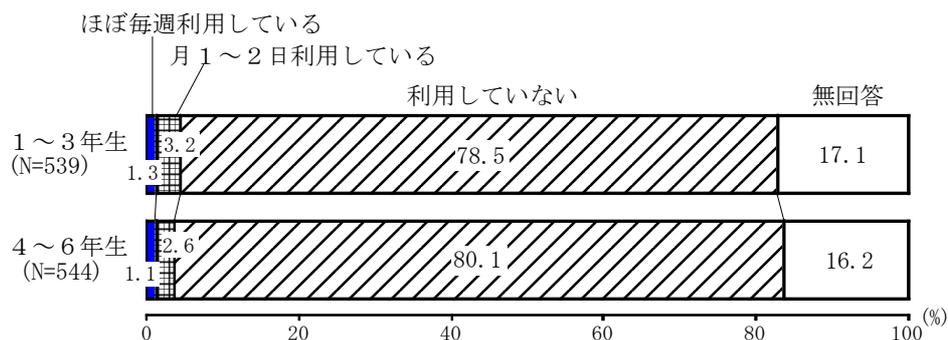
図表 2-2-2 【自由な遊び場開放事業の利用時間帯】



「自由な遊び場開放事業」の土曜日の利用状況は、「ほぼ毎週利用している」、「月1～2日利用している」が全体の5%未満にとどまっている。利用時間帯については、9時から17時の間で利用があり最も利用が集中しているのは午前中の10時、11時台である（図表2-2-2）。

学年別で見ると、高・低学年での差はほとんどなく同じような回答割合となっている（図表2-2-3）。

図表 2-2-3 自由な遊び場開放事業の土曜日の利用状況（学年別）

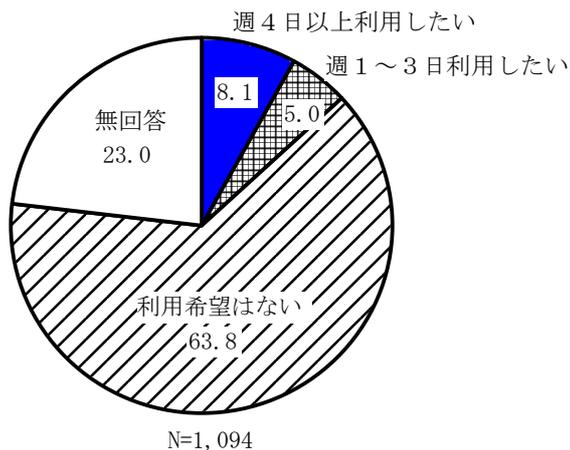


〔3〕学童保育に対する利用意向

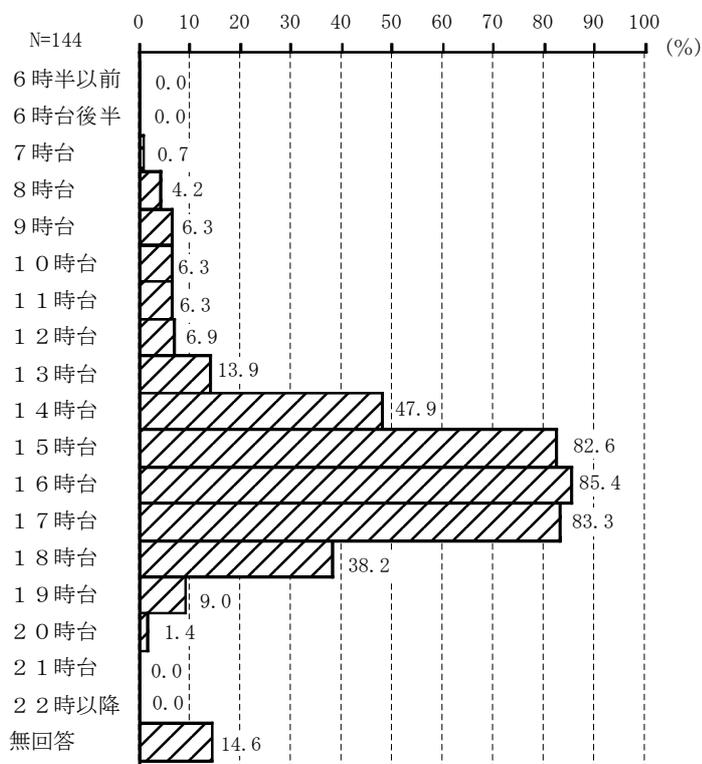
(1) 平日の利用意向、希望時間帯

問7 調査対象のお子さんについて、学童保育の利用希望が現在（もしくは今後も引き続き）ありますか。平日（月～金曜日）・土曜日それぞれについて、利用希望、希望時間帯をお答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 3-1-1 【平日の学童保育の利用希望】



図表 3-1-2 【学童保育の利用希望時間帯】

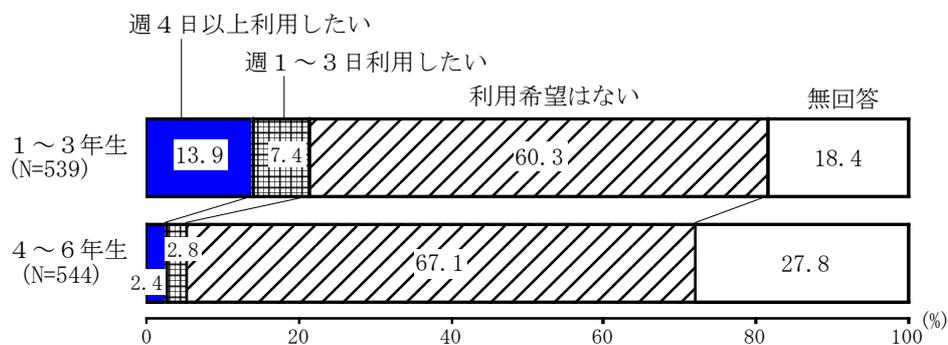


平日における学童保育の利用意向は、「週4日以上利用したい」が8.1%、「週1～3日利用したい」は5.0%となっている（図表3-1-1）。

利用希望時間帯は、15時から17時の間の利用希望が多い（図表3-1-2）。

学年別でみると、4～6年生に比べ1～3年生の利用意向が高い（図表3-1-3）。

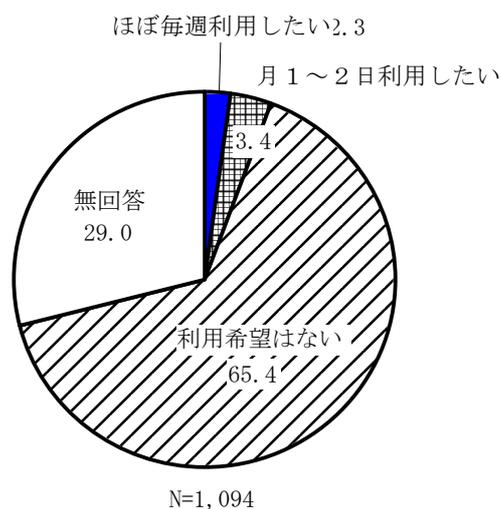
図表 3-1-3 学童保育の平日の利用希望（学年別）



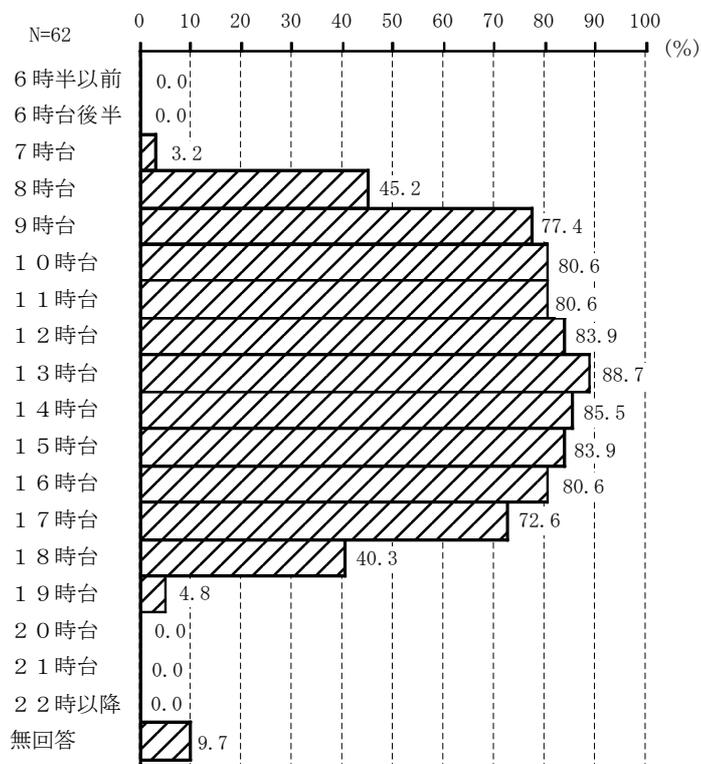
(2) 土曜日の利用意向、希望時間帯

問7 調査対象のお子さんについて、学童保育の利用希望が現在（もしくは今後も引き続き）ありますか。平日（月～金曜日）・土曜日それぞれについて、利用希望、希望時間帯をお答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 3-2-1 【土曜日の学童保育の利用希望】



図表 3-2-2 【学童保育の利用希望時間帯】

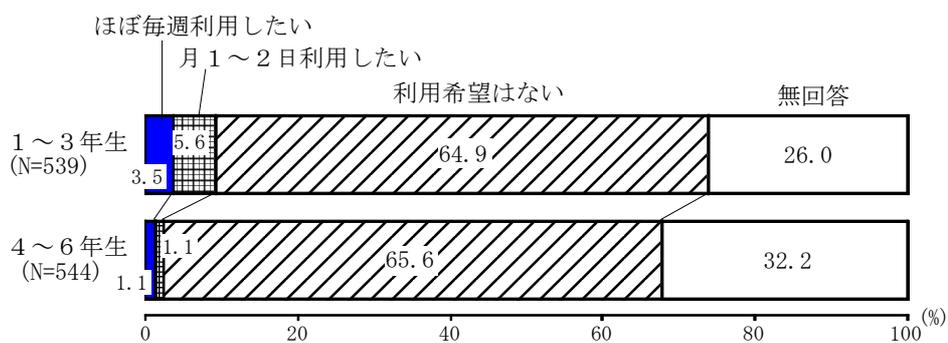


土曜日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」(2.3%)、「月1～2日利用したい」(3.4%)がともに5%未満にとどまっている(図表3-2-1)。

利用希望時間帯は、9時から17時に希望が集中している(図表3-2-2)。

学年別でみると、1～3年生のほうが利用希望はやや高くなっており全体の1割近くに達している(図表3-2-3)。

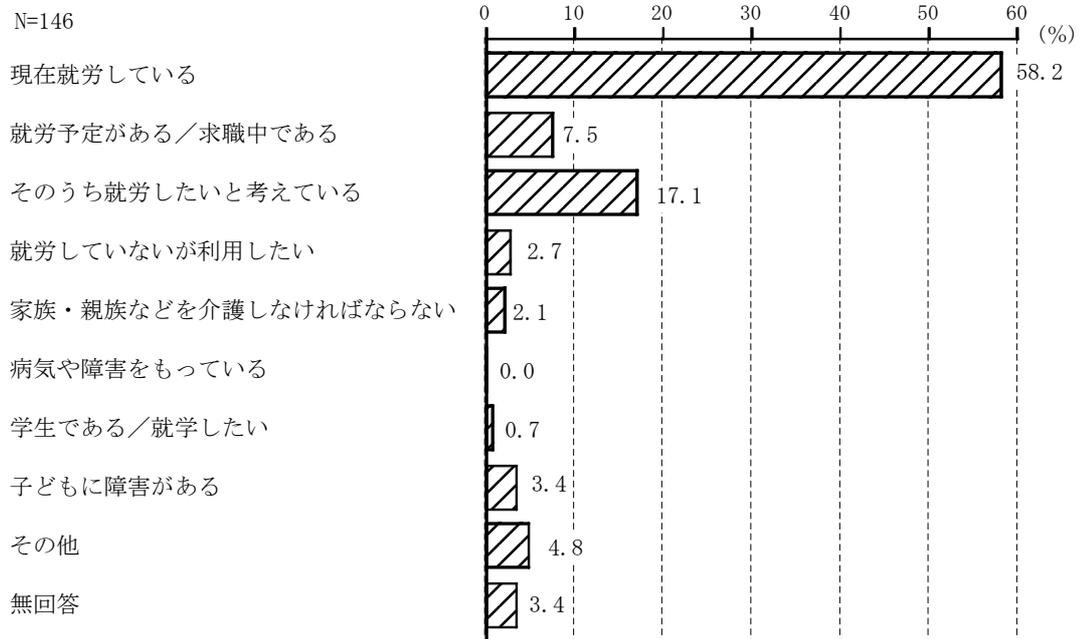
図表 3-2-3 学童保育の土曜日の利用希望 (学年別)



(3) 学童保育を利用したい理由

問8 学童保育を利用したい理由について、主なもの1つに○をおつけください。

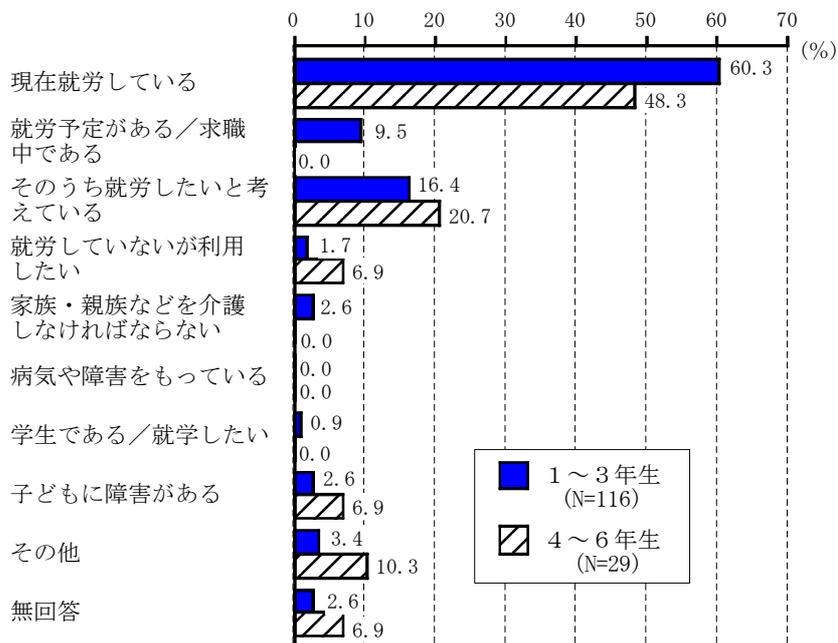
図表 3-3-1



学童保育を利用したい主な理由は、「現在就労している」が（58.2%）で他項目を大きく上回って最も多くなっている。次いで「そのうち就労したいと考えている」（17.1%）、「就労予定がある／求職中である」（7.5%）が続いている（図表 3-3-1）。

学年別では、「現在就労している」の回答は、1～3年生の保護者の割合が高くなっている（図表 3-3-2）。

図表 3-3-2 学童保育を利用したい理由（学年別）

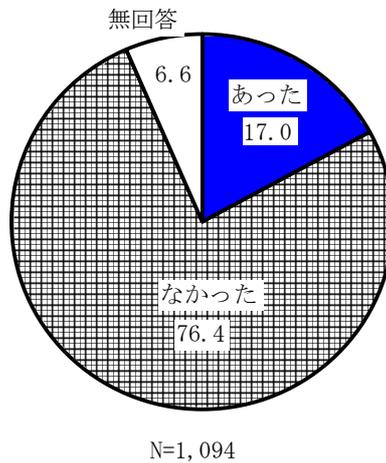


〔4〕一時預かりに対する利用意向

(1) 保育者が用事で子どもを泊りがけで預けた経験

問9 この1年間に、保護者の用事などによりお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

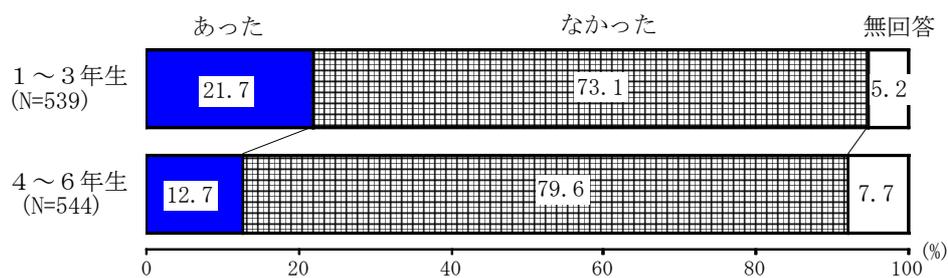
図表 4-1-1



保護者が用事で子どもを泊りがけで預けた経験は、「あった」が全体の17%となっている(図表 4-1-1)。

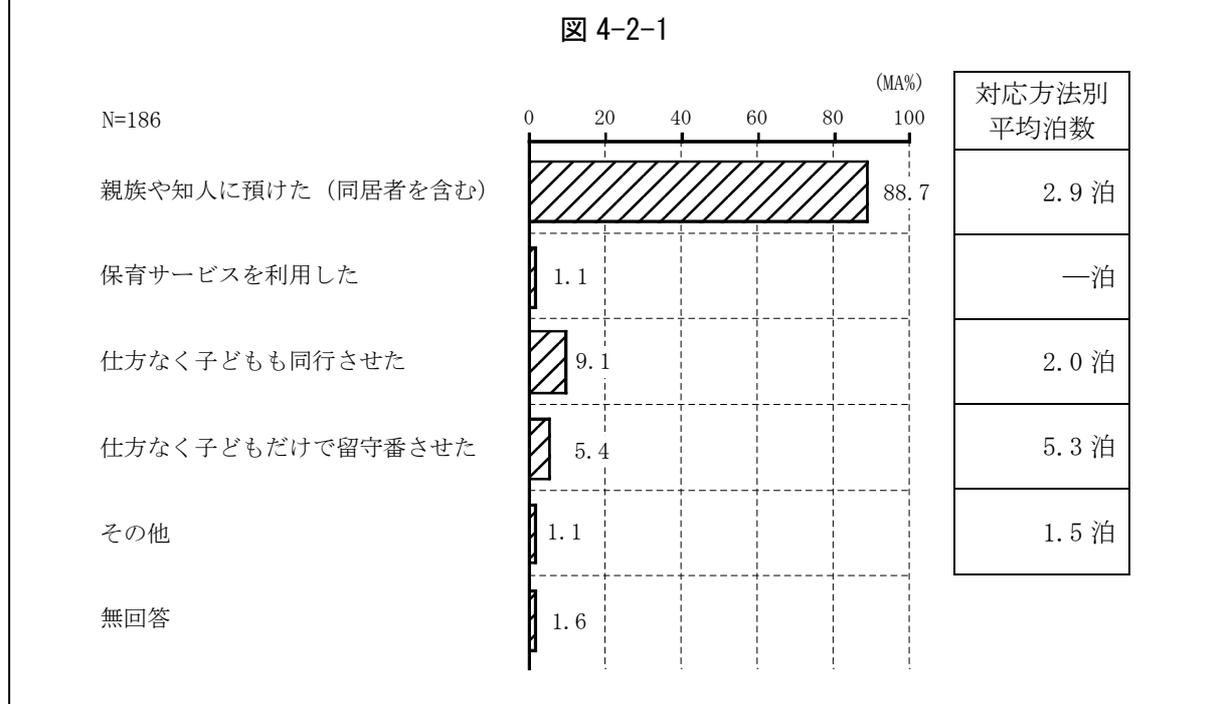
学年別で見ると、泊りがけであずけた経験が「あった」割合は1～3年生のほうが4～6年生に比べて9ポイント高くなっている(図表 4-1-2)。

図表 4-1-2 保育者が用事で子どもを泊りがけであずけた経験(学年別)



(2) 対処方法と泊数

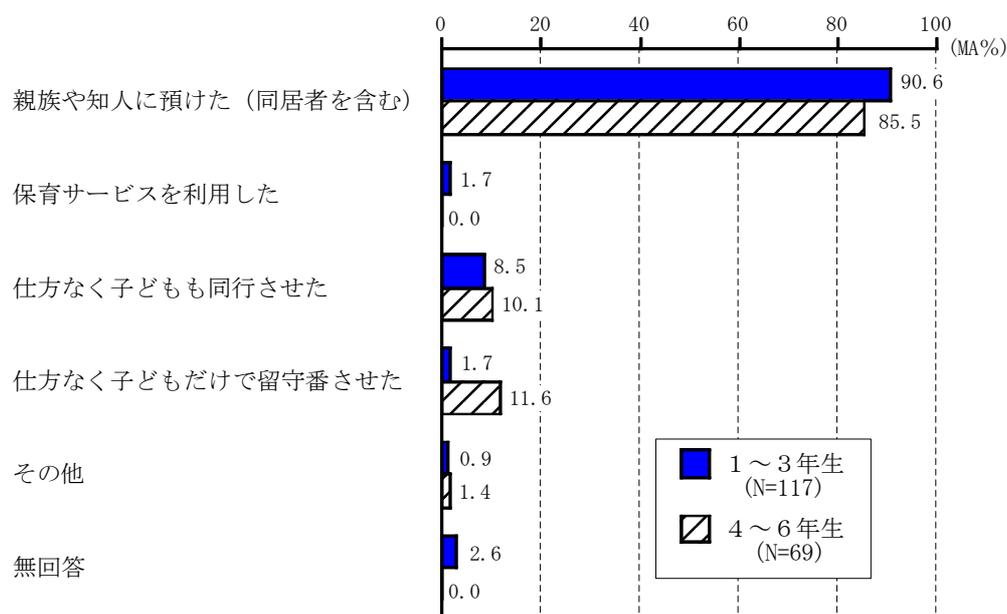
問9-1 この1年間の対処方法について、あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数をお答えください。



対処方法においては、「親族や知人に預けた (同居者を含む)」(88.7%) が最も多い対処方法となっておりその時の平均日数は2.9泊となっている (図表 4-2-1)

学年別でみると、「仕方なく子どもだけで留守番させた」の割合は高学年のほうが高くなっている (図表 4-2-2)。

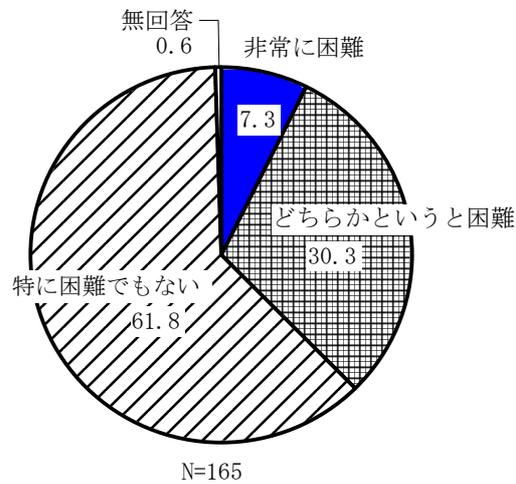
図表 4-2-2 対処方法 (学年別)



(3) 対処にあたっての困難さ

問9-2 親族・知人（同居者を含む）に預けることは困難でしたか。

図表 4-3-1



親族・知人に預けることの困難さは、「特に困難でもない」(61.8%)が最も多くなっているものの、「非常に困難」(7.3%)、「どちらかというと困難」(30.3%)が合わせ 37.6%となっており、親族・知人に頼みにくいという人も少なくない(図表 4-3-1)。

〔5〕ふだんの子どもの過ごし方

問10 平日（月～金曜日）の放課後、および休日の日常なお子さんの過ごし方について、一番あてはまるものをそれぞれ時間帯ごとに下の表（点線枠内）から1つずつ選んで番号をご記入ください。

図表 5-1 【平日の過ごし方】

N=1,094 (%)	学校にいる（授業、遊び）	学童保育で過ごす	自由な遊び場開放事業で過ごす	保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	兄弟姉妹等、子どもどうしで過ごす	ベビーシッター・家政婦・ヘルパーなどと過ごす	家、公園などで友だちと過ごす	公共の施設にいる	クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をする	学習塾や習い事に行く	家で勉強する	家でひとりで過ごす（勉強以外）	その他	無回答
	20.3	5.8	3.3	6.2	4.8	-	36.2	-	1.0	8.3	3.7	1.9	0.4	8.0
	-	-	-	47.6	7.4	0.1	1.6	-	0.6	21.2	11.0	1.8	0.5	8.1
	-	-	-	77.9	2.8	-	0.3	-	0	0.7	5.9	1.1	2.6	8.8

図表 5-2 【休日の過ごし方】

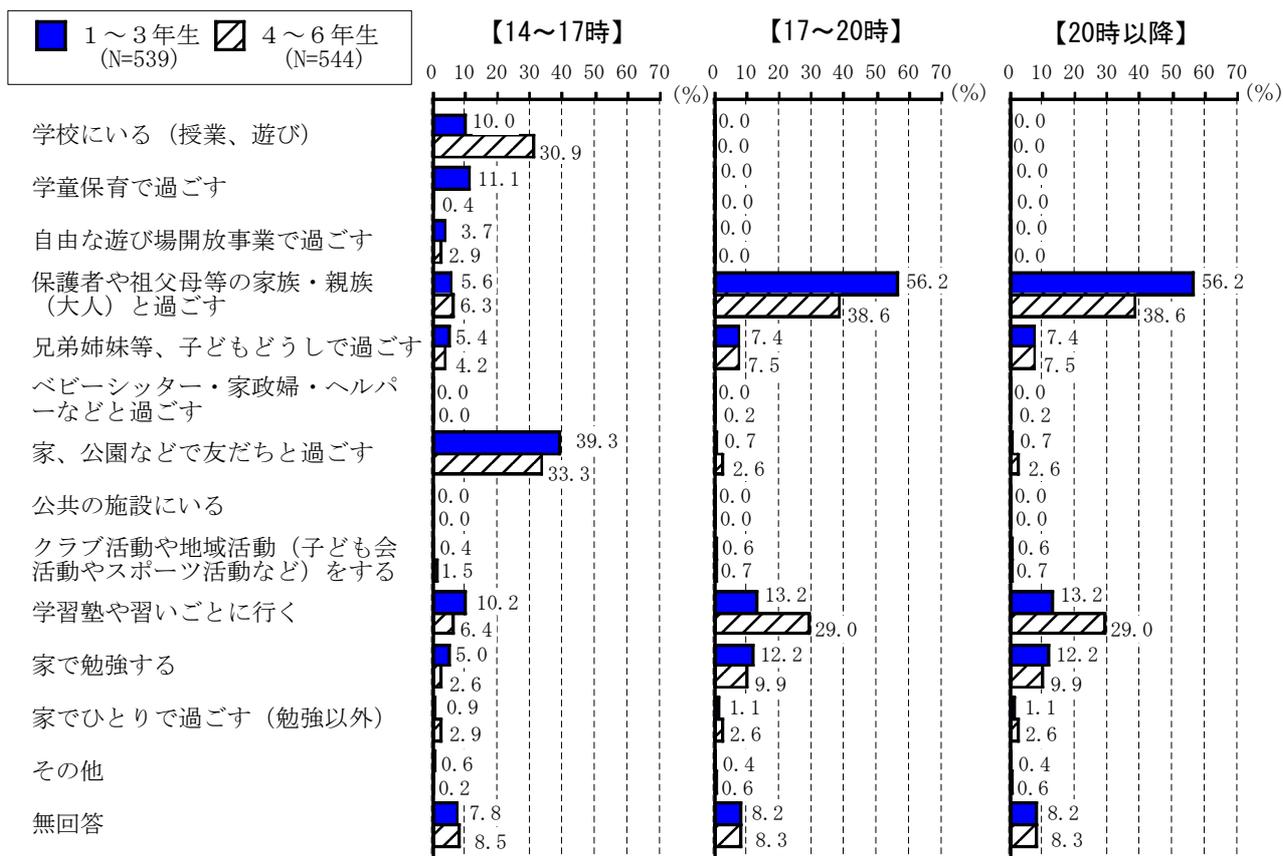
N=1094 (%)	学校にいる（授業、遊び）	学童保育で過ごす	自由な遊び場開放事業で過ごす	保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	兄弟姉妹等、子どもどうしで過ごす	ベビーシッター・家政婦・ヘルパーなどと過ごす	家、公園などで友だちと過ごす	公共の施設にいる	クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をする	学習塾や習い事に行く	家で勉強する	家でひとりで過ごす（勉強以外）	その他	無回答
	2.2	0.3	0.1	56.2	7.0	-	3.3	0.3	9.0	4.5	9.1	1.6	1.6	4.7
	2.4	0.3	0.5	54.7	7.2	-	12.9	0.7	8.4	3.8	1.7	0.9	1.8	4.7
	0.5	0.3	0.6	46.2	6.3	-	21.1	0.7	9.3	5.9	2.0	1.2	1.3	4.6
	-	-	0.1	80.3	4.8	-	0.3	-	0.2	2.3	4.8	0.9	1.6	4.8
	0.1	-	0	84.7	2.5	-	0.3	-	-	0.1	2.8	1.2	3.1	5.2

平日の過ごし方を時間帯ごとにみると、14～17時で最も多いのは「家、公園などで友だちと過ごす」（36.2%）で、17～20時、20時以降は「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が多くなっている（図表 5-1）。

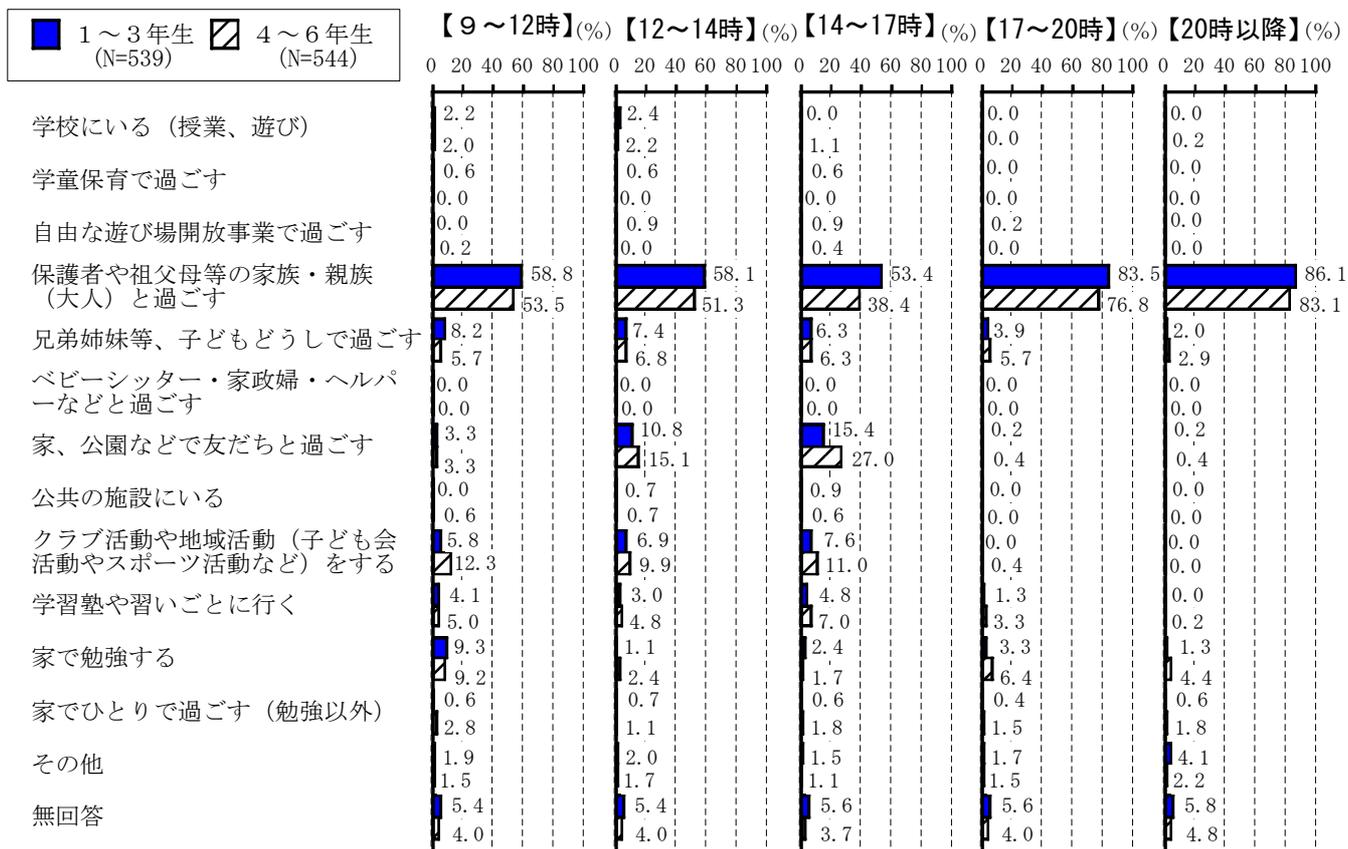
一方、休日の過ごし方では、すべての時間帯において「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が一番多い回答となっている（図表 5-2）。

学年別でみると、平日においては「学習塾や習い事に行く」割合が4～6年生で高くなっている（図表 5-3）。休日においては、特に目立った差はみられないものの、一日を通して低学年のほうが家族と共に過ごす割合が高い傾向にあり高学年は日中（12～14時、14～17時）に友だちと過ごすこともある（図表 5-4）。

図表 5-3 平日の過ごし方（学年別）



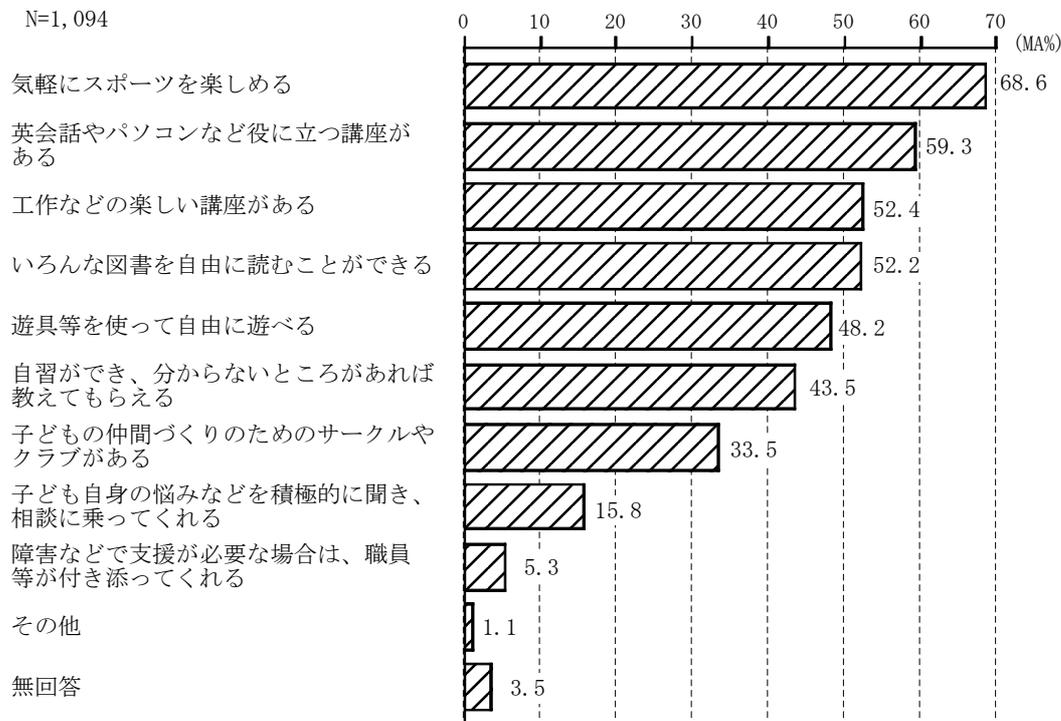
図表 5-4 休日の過ごし方（学年別）



〔6〕 公共施設で子どもに利用させたいサービス・企画

問 1 1 生涯学習施設、スポーツ施設、人権文化施設などで、お子さんに利用させてみたいサービスや企画があれば、あてはまるものをすべて選んで○をおつけください。

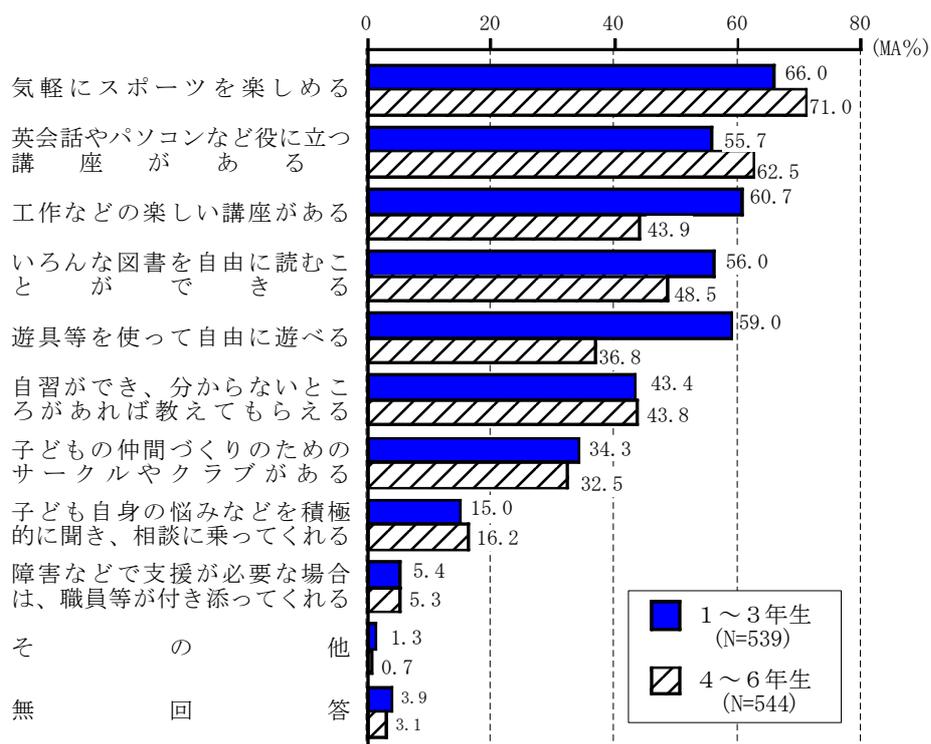
図表 6-1



公共施設で子どもに利用させたいサービス・企画については、「気軽にスポーツを楽しむ」(68.6%)が最も高くなっている。これに次いで、「英会話やパソコンなど役に立つ講座がある」(59.3%)、「工作などの楽しい講座がある」(52.4%)、「いろんな図書を自由に読むことができる」(52.2%)の順となっている(図表6-1)。

学年別で見ると、「遊具等を使って自由に遊べる」、「工作などの楽しい講座がある」等は低学年で希望が高く、その他の項目は学年別での差はあまりみられない(図表6-2)。

図表 6-2 公共施設で子どもに利用させたいサービス・企画（学年別）

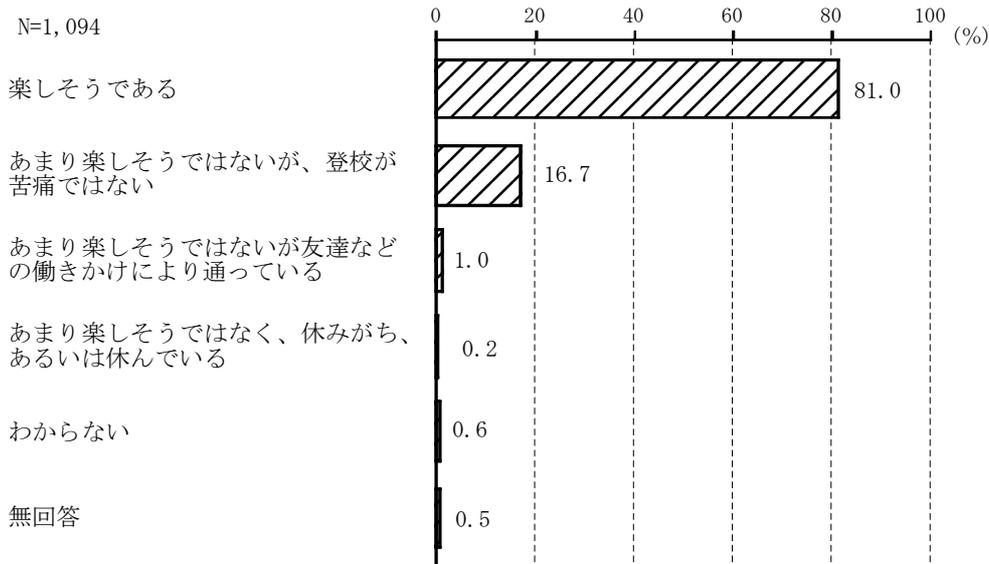


〔7〕子どもの学校への通学について

(1) 子どもは学校に行くのが楽しそうか

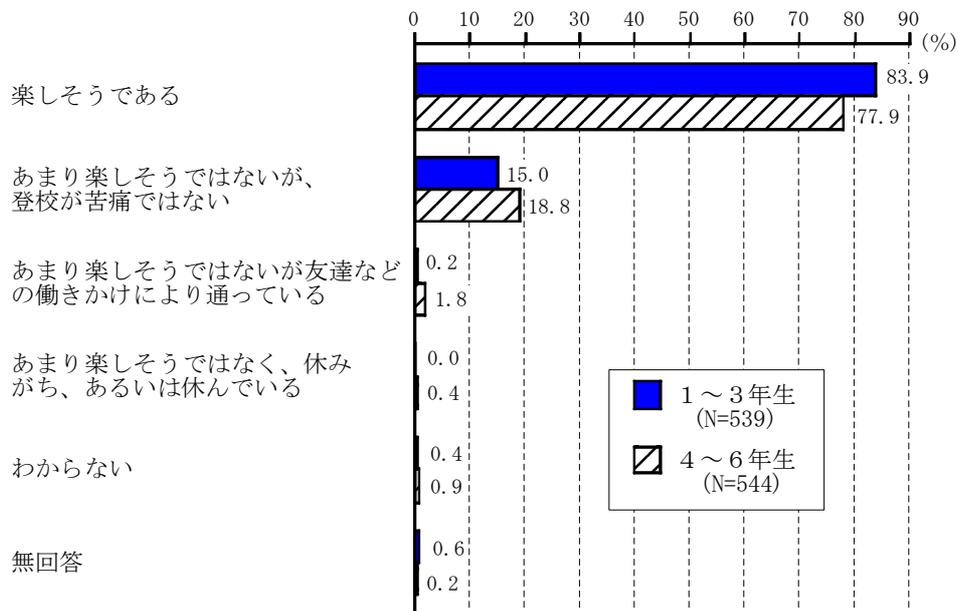
問 1 2 あなたのお子さんは、学校に行くのが楽しそうですか。あてはまるものを1つ選んで○をおつけください。

図表 7-1-1



子どもが学校に行くのが楽しいかどうかについては、「楽しい」との回答が8割を超えている（図表 7-1-1）。学年別でみると、低学年のほうがやや「楽しい」と感じている割合が高くなっている（図表 7-1-2）。

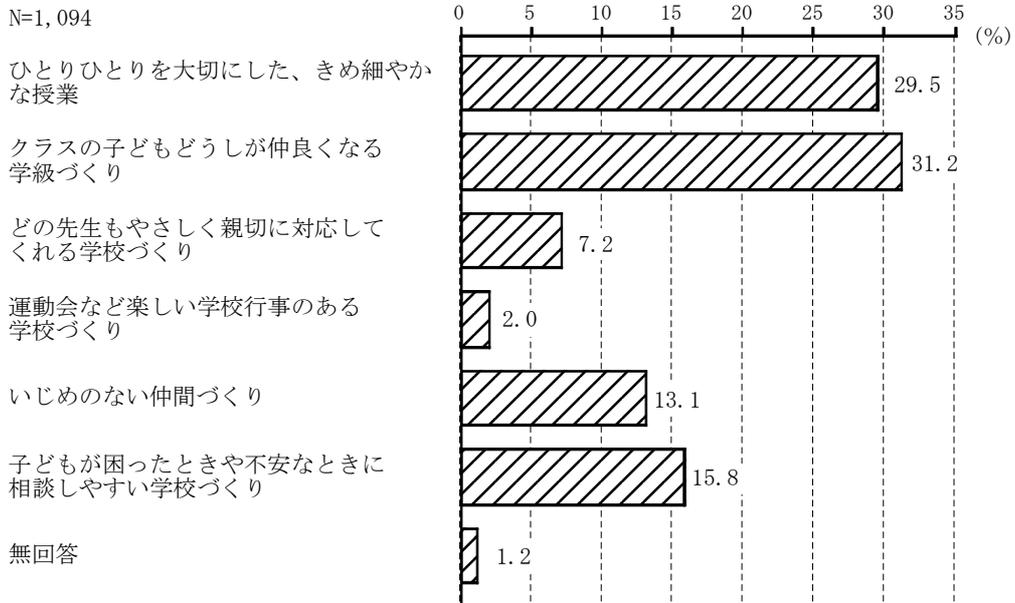
図表 7-1-2 子どもは学校に行くのが楽しそうか（学年別）



(2) 学校を楽しくするための必要な取組み

問 1 2 - 1 学校をより楽しくするには、どのような取組みが必要だと考えられますか。最も必要だと思われるものを1つ選んで○をおつけください。

図表 7-2-1



学校を楽しくするための必要な取組みでは、「クラスの子どもどうしが仲良くなる学級づくり」(31.2%)と「ひとりひとりを大切にされた、きめ細やかな授業」(29.5%)の回答が高くなっている(図表 7-2-1) 学年別でみると、特に回答率に差はないが「子どもが困ったときや不安なときに相談しやすい学級づくり」で低学年のほうがやや回答率が高い(図表 7-2-2)。

図表 7-2-2 学校を楽しくするための必要な取組み(学年別)

